



令和6年度 富山市立水橋西部小学校

# 天瀬っ子

学校だより 9月号



## たいせつなこと

養護教諭 浜田磨耶

1949年にアメリカで出版された、マーガレット・ワイズ・ブラウン作の絵本、『たいせつなこと』の締めくくりに、「あなたがあなたであること」と書かれています。この本を初めて手に取ったのは、小学校卒業後のことでした。当時の私は、そこに書かれていることがさっぱり分かりませんでした。紙いっぱいの絵とともに、当たり前のような、でも失ってはいけない大切なことがシンプルな言葉で書かれています。当時の私は、この本に書かれたシンプルなメッセージに必要性を感じていなかったのかもしれない。

人生には苦楽がつきものです。なにも大人になってから苦楽が伴うのではなく、人として生まれた瞬間から、何かしらの苦楽を経験しながら人は成長するのだと思っています。人生を振り返り、楽しかったことで心がいっぱいになると嬉しいですが、過去にあった苦しみを、ふとしたときに思い出してしまいます。無理に忘れようとはせず、「あのときはこうだったな、でも今は大丈夫」などと、ゆっくりでよいのでその気持ちと向き合うことが大切なのかもしれません。

過去に戻ってやり直すことが出来ないのが人生です。あのときこうしておけばよかったと思っていることはありませんか。私はたくさんあります。気持ちが落ち込んだとき、特に考えてしまいます。そんなときに思い出すが、「あなたがあなたであること」というフレーズです。一度きりの人生、悩む時間も必要だと思います。悩むことは苦しいかもしれませんが、悩んで、考えて、行動したら、光が見え、自分の殻から突破できるのです。それによって、自分の居心地のよい範囲が広がります。

養護教諭として、子供たちの成長に携わることに喜びを感じるとともに、責任を強く感じます。保健教育を通して、子供たちには健康の大切さに気付き、健康の保持増進を図ってほしいと願っています。将来の夢や希望を実現するためには、健康であることが必要最低限の条件だと考えています。病気がある、ハンディがあるから健康ではない、のではありません。自分の心と体を大切に、元気に生きることが、健康である証です。夢や希望があると、生きる原動力になります。大人も子供も、いつまでも心と体の健康を大切に、夢や希望を抱きながら、充実した人生を送れますように。そして、困難に遭遇したときは、「あなたがあなたであること」と心で唱えてみるのはいかがでしょうか。

ひまわりの花言葉は、“希望”だそうです。

先日石川県の穴水町へ訪れた際に、のと鉄道の方々から、線路の沿線にひまわりを植えられたと聞きました。地震の爪痕に衝撃を受けましたが、そこで生活しておられる方々が希望を胸に進んでいることを、ひまわりを通して感じました。(電車の車内から見えたひまわりは、背中を向けていたため写真は撮りませんでした。)



【本校の花壇に咲くひまわり】